

朗和農園に傳言せう

調和病院長マーチス博士の誕生日に於ける一般医務及薬務の発表を除く。康急の場合を除く。

支那の報



科治療廃止

新民は内解キ野果を供給して居る調和農園の

他国内の事を云々より

白國から改善せよ

八月六日

月一才一正誠

FBIの調査記録に依

転住所當面へ達ら未成た

北は日本人のサボタ

ジやエヌゴオナージに

は先ず自國の問題

り改善せねばならぬ事

國人は日本人の定住を

心から近へてこそ要の

頃もよく人々が友誼的

であるからだ。アーラン

ソーガゼット紙は主張

転住部アーラス氏は今

間の列車を詳しく述べ

と周副所長は語った

八月八日水一才正城

1 28

2 32

3 33

4 40

5 41

6 29

7 17

8 15

9 16

八月七日水一才正城

11 12 5 6 3 4 13 14 19

太西洋賽車に頑張する

民主主義を維持せんと

するならば己系人に對

する人種的偏見を排し

彼等に適宣の經濟的再

運の機會を與へねばな

らぬ他而外の少數民族

日或は其の一西日前後

成る意に家庭の事情で

飯置に決し七月三十一

に限り退社した事は朗

特別列車の
事績と名掌
民主國人と謂ふ
アシニセニオガセアト

三四朗去る

青い鳥は近くに
當州で農業を嘗め同胞

定理の證は愈々激しく
知胞四年名も去就に
迷つて居る者が多いし
て居る。

ジンボドケル於て百
七年加久裏園を經營し
て居る。

今川氏の一子息はハ
ベード大茶の放課を執
り他の子弟は軍役にお
参りある。

是の放課慈善團体の勢
力と共に一般寛容なる
更早目的の手續が實事だ。

本紙一面及四面に雄
牛銀算を據て左一朗の
ヘニホームで日記帳に
時局談論を登し、其の
他の短篇を創作
され本社の四次文調
成る意に家庭の事情で
飯置に決し七月三十一
に限り退社した事は朗
特別列車の事績と名掌
民主國人と謂ふアシニ
セニオガセアト

受入ルて居る。

市内は日不人を心から
アーラム赤着の為譯次掌
理由は該場に接連シ免
了。

本紙一面及四面に雄
牛銀算を據て左一朗の
ヘニホームで日記帳に
時局談論を登し、其の
他の短篇を創作
され本社の四次文調
成る意に家庭の事情で
飯置に決し七月三十一
に限り退社した事は朗
特別列車の事績と名掌
民主國人と謂ふアシニ
セニオガセアト

W.R.A.に喰て掛る

「沙港西北農産聯盟」

(2)

昨週某務長官クリントンアンタソン氏は沙港西北農産會社に出席し、對する爲見付かれてある様打電したが同聯盟は沙港月の開業の結果であると議會の開催を告めて日本人生産の農業者居るアンタソンの電文の報告があつた現下の会物供給時代かかる傍見付が累は及するものにして極力と是正を望むとあつたに対する同聯

人農業は對する爲見付かれてある様打電したが同聯盟は沙港月の開業の結果であると議會の開催を告めて日本人生産の農業者居るアンタソンの電文の報告があつた現下の会物供給時代かかる傍見付が累は及するものにして極力と是正を望むとあつたに対する同聯

沙港界

W.R.A.はバージニアサウスカロライナと彼は語つた

事務所のもので調査の必要を認めると是をけ
信する」と彼は語つた

水の上明田川清小泉後
ニ南東二野旗馬



話の日金

瘦せるビーン(下)

一区代表者会 午前正時睡眠不足の眼

来う四日三午后七時半 取去る車を命じ沙港警

察及車長を繰り返してそり20区の車番所にて、ひ集めて備家欄の隅か

アトウレは言ひ吾々はの陰去方を命令したと

者は万障總合せ原立席 ら陽まで残い希望を持

おり度しと左櫓なら ちながら眺め入る。

ハツキリノード断られろ 遊電話を掛けろか直接

左櫓なら 在のスクランブルリ 一ヶの三ケームは依て

船は水力効用伸す現 リーク前週及今週の戦績

力は若く道手に劣るか 脳たん中の脳死は旺盛

勝たん中の脳死は旺盛 で熱戦を續けるであらう。

アーリー前週及今週の戦績 は早速死んで行くか之

一人に近所で備家れを は大體口意い見掛けなかつ左から電

攻に白人の知合ひ一人 で脚筋を切つて家を探

るのは稀である。 か筋筋り切つて家を探

見掛けなかつ左から電 してろ處左と去へば何

話で聞き乱す若しあれ か筋筋り切つて家を探

は早速死んで行くか之 たそれ丈の辛か俺の家

を貸さうと聞いた途 が玉に何週間と続いた

左からか大変日課の その日運命づけられ

耐と決断それからと一 し左のものでない羅荷

つ、草履の舟への供物充 が崩れ水蒸失つた。

動車で累積ない備家れ が玉に幾時をして四葉

のクローヴ。

外部宣傳欄

アライカリヤリスベシト
ンの川崎開放便は近く
同地仏教會を本ステル
に改組の爲駆逐する
イリスイ洲ゼオリヤト

三室は提供し得る見込
みと語つた。

住宅問題。
アライカリヤリスベシト
ンの川崎開放便は近く
同地仏教會を本ステル
に改組の爲駆逐する
イリスイ洲ゼオリヤト

三室は提供し得る見込
みと語つた。

第一詩歌力トナシ社説
用し民主主義の生くる
は日系音樂長の章を引
きとちふ見立して株譲
處とちふ見立して株譲

論文入賞
城谷保一著(23才)鶴
湖に居住して居てかし
カスに去所し入賞連同
地で加州大學後援宮本
西太郎ブランク博士指
導下に助手として転

多數白足人を知るとは
云へずいか少くとも来
國出生の日本人は聞す
る限りに於てよく知つ
て居ろと云ふ幸か幸東
日本官廳下の日本矣。三
千は目的の書簡に向つて
ばて詳述せ。十六頁の

陸軍地上部隊長が指揮
官デニアース大將は記者
に向ひ
評可は七月廿日の事で
一世商業家の福島だ
た車である。因に秘書の
役は学生の達筆に依る
因景兵の

十才に会し家族
連数住着援助研究をし
な全員は地方移住者
員金の全員で第十三
可能の好ニテを寄り
しき。

須市・様台南ノーン侍
ニコニ子岡屋屋族驚け經
營中の岡崎松種は現在
ホタルの地蔵で小糸口
話は少々古間に属する
か寺の五月木の招魂祭
當日紐音州ベッドホート
ヒルスの高校生池田ベ
イリノイ州クロスの高
校で今夏卒業式が各行
され左か此處にも二世
は優秀學生の室輝に背
かすサンノセ子身でハ
レト山に立退いた北沢
ローズは卒業生作者と
平時送られる者は少
數であらうと結んだ。

五名の同大学生の論文
を脱落して漸次一等賞
を獲得し工面片の賞金
並に最高学術的功績の
名誉を充ち得た論題は
危機の流まであつた。

論文入賞
城谷保一著(23才)鶴
湖に居住して居てかし
カスに去所し入賞連同
地で加州大學後援宮本
西太郎ブランク博士指
導下に助手として転
ばて詳述せ。十六頁の
車である。因に秘書の
役は学生の達筆に依る
因景兵の

論文入賞
城谷保一著(23才)鶴
湖に居住して居てかし
カスに去所し入賞連同
地で加州大學後援宮本
西太郎ブランク博士指
導下に助手として転
ばて詳述せ。十六頁の
車である。因に秘書の
役は学生の達筆に依る
因景兵の

